



国際ロータリー
2017年決議審議会

決定報告書

2017年10月15日～11月15日



John P. Hewko
General Secretary

T +1.847.866.3431

F +1.847.556.2198

john.hewko@rotary.org

john.hewko@rotary.org

2017年12月

ロータリアンの皆さまへ

師走の候、皆さまにおかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

2017年10月15日から11月15日までの間、国際ロータリーの決議審議会がオンラインで行われました。RI細則9.150.2.に従い、審議会の決定報告書をお送りいたします。

今回の決議審議会には、38件の決議案が提出され、17件が採択されました。このうち、RI理事会への推奨が15件、ロータリー財団管理委員会への推奨が2件でした。理事会と管理委員会は次回の会合でこれらの案件を検討します。

決議審議会または採択された決議案に関するご質問がある場合は、審議会担当部までご連絡ください（council_services@rotary.org）。また、次回の決議審議会への決議案提出の締切日は、2018年6月30日です。

よろしくお願いいたします。

A handwritten signature in blue ink, appearing to read "John P. Hewko". The signature is stylized and includes a long horizontal line extending to the right.

国際ロータリー事務総長
ジョン・ヒューコ

立法案

立法案 番号	案件	ページ 番号
17R-01	クラブ戦略計画委員会の設置を推奨することを検討するよ うRI理事会に要請する件	1
17R-04	復帰会員に関する当初の会員情報の保持を検討するようRI理事会 に要請する件	2
17R-05	終結されたクラブが地区の承認を確保することを検討するよ うRI理事会に要請する件	4
17R-06	クラブの柔軟性による効果について調査することを検討するよ うRI理事会に要請する件	6
17R-07	試験的プログラムの情報公開を検討するようRI理事会に要請す る件	7
17R-10	「ロータリーの目的」を明確にすることを検討するようRI理事会 に要請する件	8
17R-12	ロータリーの中核の価値観と使命を追加する立法案を規定審議会 に提案することを検討するようRI理事会に要請する件	10
17R-16	生態学的に持続可能な取り組みの支援を検討するようRI理事会 に要請する件	12
17R-17	持続可能な開発と環境保護を重点分野に加えることを検討するよ う管理委員会に要請する件	14
17R-21	ローターアクトクラブ認定フォームの改定を検討するようRI理事会 に要請する件	15
17R-23	グローバル補助金申請に水プロジェクト申請のテンプレートを含め ることを検討するよう管理委員会に要請する件	17

17R-29	RI理事会に付託された制定案に関する審議過程を公開することを検討するようRI理事会に要請する件	18
17R-30	5カ年財務見通しを審議会より前に送付することを検討するようRI理事会に要請する件	20
17R-31	ロータリーの人頭分担金を増額しないことを2019年審議会で検討するようRI理事会に要請する件	21
17R-36	ロータリー章典の更新箇所に編集上の印を加えることを検討するようRI理事会に要請する件	23
17R-37	年次の会長テーマをヒンディー語で発表することを検討するようRI理事会に要請する件	25
17R-38	投票機器の使用方法を審議会代表議員に研修することを検討するようRI理事会に要請する件	27
	採択された決議案の票数	29

決議案 17R-01

クラブ戦略計画委員会の設置を推奨することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 千葉ロータリークラブ（日本、第 2790 地区）

承認者： 第 2790 地区郵便投票により承認（2017 年 6 月 21 日）

- 1 各ロータリークラブが今後の変動する社会情勢の中で確実に存在し、各地域にお
- 2 いて継続的な奉仕活動をするためにクラブの充実は最低不可欠なものである。
- 3
- 4 各クラブの組織をより強固なものとして、長期的な視点に立ち、クラブ運営を見
- 5 直し新たな運営方法を見出すことはクラブ存続にとってもより有意義なことにな
- 6 る。
- 7
- 8 よって、国際ロータリーの決議により、クラブの特性を生かしたロータリークラ
- 9 ブ戦略計画委員会を持ち、継続的なクラブの発展の機会を持てるよう推奨ロータ
- 10 リークラブ細則に明記することを検討するものとする。

（本文終わり）

財務上の影響

- 11 本決議が実行された場合、RIに大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われ
- 12 る。

決議案 17R-04

復帰会員に関する当初の会員情報の保持を検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 9790 地区 9790 Latrobe ロータリーE クラブ（オーストラリア）

承認者： 第 9790 地区郵便投票により承認（2017 年 6 月 12 日）

- 1 支払い義務を果たして退会し、その後求められ、再び会員となるよう奨められた
- 2 元ロータリアンは多い。
- 3
- 4 それらの会員は、経験および専門知識・スキルから貴重なリソースとなっており、
- 5 リーダーとしての役割を担う意欲を持っている。
- 6
- 7 初期の会員番号および入会日は、クラブにおける記録に残っていたとしても、
- 8 Club Runnerに入力された記録には含まれない。
- 9
- 10 その結果、過去の記録が保持され、ロータリー財団への寄付および財団による認
- 11 証用に提供されても、これらの会員が過去に行った奉仕は認識されておらず、よ
- 12 って認証されていないように見受けられる。
- 13
- 14 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、復帰会員の
- 15 初期会員番号および入会日を収集・保持し、Club Runnerに入力できるようにす
- 16 ることを検討するものとする。

（本文終わり）

趣旨および効果

- 17 元会員が復帰することによって、個々のクラブがロータリー全体を活性化すること
- 18 ができる。そのため、元会員は今や会員増強における重要な分野として認識さ
- 19 れている。過去に、出席に関する規定やほかの会員の期待に添えなかった、ある
- 20 いは内部変革のための能力または社会のニーズへの対応能力がクラブに欠乏して
- 21 いることに不満を感じて、これらの復帰会員の多くが、支払い義務を果たしてい

1 ながらロータリーを去っていくことになるであろう。これら元会員の多くは、豊
2 かなロータリー経験を持ち、今も活気と意欲に満ち、貢献意欲にあふれた人たち
3 である。復帰とともに会員番号が振り直され、入会日が復帰日の日付に変えられ
4 てしまったことにより、彼らの過去の奉仕歴が無視されるべきではない。Club
5 Runner を通じて復帰会員の元々の会員情報が得られるようになれば、彼らの功
6 績が然るべく認識され、クラブにおける彼らの立場が強まり、意欲が高まり、自
7 己価値への評価も向上するであろう。それが誰にとっても公平 というものであ
8 る。

財務上の影響

9 本決議が実行された場合、国際ロータリーに財務的影響を与える可能性があるが、
10 現時点でその額を特定することはできない。費用は、この目的を達成するために
11 RI 理事会が提供する支援の範囲と内容により異なる。
12
13 会員数が増加すれば、収入も増加する可能性がある。

決議案 17R-05

終結されたクラブが地区の承認を確保することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 3860 地区（フィリピン）

承認者： 第 3860 地区立法案検討会（フィリピン、Cebu、Cebu）にて承認
(2017年6月28日)

1 加盟が終結されたクラブは、加盟復帰料と課徴金を払えば RI 会員として復帰で
2 きる。

3
4 加盟終結の理由は会費の不払いに限らず、RI に対して有害な、または RI に反目
5 する行為・活動が含まれる場合もある。

6
7 該当地区は、ローアリアンとしてふさわしくない行為を是正し、そのような行
8 為・活動を控え、再発を防止する決議をするよう、そのクラブに求めるべきであ
9 る。

10
11 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、終結されたク
12 ラブが所属地区の承諾と承認を確保し、さらに地区が実施および／または推奨す
13 る基礎的オリエンテーションへ出席することをクラブに義務づけることを検討す
14 るものとする。

(本文終わり)

趣旨および効果

15 本決議案は、一度過ちを犯しながらもそれを悔いているロータリアンを厳格に審
16 査することにより、全クラブのビジョンを統一するとともに、RI の高潔性、疑
17 いの余地なき名望、真の人道的奉仕活動を防護することを目的とする。

財務上の影響

- 1 本決議が実行された場合、RI に大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われ
- 2 る。現在、クラブが加盟復帰できるのは、会費または RI に対するその他の金銭
- 3 的債務または承認されている地区資金への賦課金の支払いを怠って終結された場
- 4 合に限られている。

決議案 17R-06

クラブの柔軟性による効果について調査することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 2840 地区（日本）

承認者： 第 2840 地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認
(2017 年 4 月 16 日)

- 1 2016 年規定審議会にて、クラブ運営に大幅な柔軟性の導入が採択された。その
- 2 目的である会員増強とクラブ活性化に柔軟性の導入がどのように変化をもたらしたか、どのような効果が生じたかの調査と分析結果の開示が重要である。
- 3
- 4
- 5 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、柔軟性を導入
- 6 したクラブの現状を毎年調査し、その結果を全クラブに開示することを検討する
- 7 ものとする。

(本文終わり)

趣旨および効果

- 8 世界的にロータリーの会員数が伸び悩む状況下、2016 年規定審議会は、クラブ
- 9 運営の大幅な柔軟性の導入が可能となる画期的な RI 組織規定改正を決議した。
- 10 しかし、多くのロータリークラブは柔軟性の導入に慎重になっている。柔軟性を
- 11 導入したクラブの効果に関する適切な情報開示があれば、さらに多くのクラブが
- 12 勇気をもってクラブ改革に挑戦できるであろう。

財務上の影響

- 13 本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点で
- 14 はその額を特定することはできない。経費の実際の額は、この目標を達成するた
- 15 めに RI 理事会が提供する支援の内容によって決まると思われる。

決議案 17R-07

試験的プログラムの情報公開を検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 2680 地区（日本）

承認者： 第 2680 地区立法案検討会（日本、兵庫県、神戸市）にて承認
(2017 年 5 月 20 日)

- 1 国際ロータリーは、ロータリー運動を強化するために、「2015 - 17 年度：革新
- 2 性と柔軟性のあるクラブ試験的プログラム」などの試験的プログラムを実施し、
- 3 途中経過や結果についてデータを収集している。
- 4
- 5 ロータリークラブにおいて、クラブを活性化し強化するために、これらの試験的
- 6 プログラムに関するデータを参照することができるならば、クラブの努力や工夫
- 7 はより効果的なものとなる。
- 8
- 9 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、試験的プログ
- 10 ラムについて、途中経過や結果などにつき、できる限り詳細なデータを添えて、
- 11 公式言語により、国際ロータリーのウェブサイト上に定期的に公表することを検
- 12 討するものとする。

(本文終わり)

財務上の影響

- 13 本決議が実行された場合、RI に財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点で
- 14 はその額を特定することはできない。現在、試験的プログラムの進展に関する報
- 15 告は行われておらず、そのため、試験的プログラムの結果について情報を集め、
- 16 翻訳し、掲載するために追加の費用が発生すると思われる。

決議案 17R-10

「ロータリーの目的」を明確にすることを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 高山中央ロータリークラブ（日本、第 2630 地区）

承認者： 第 2630 地区郵便投票により承認（2017 年 5 月 30 日）

- 1 国際ロータリーの戦略計画に掲げるロータリーの理念に関する理論体系と、国際
- 2 ロータリー定款、標準ロータリークラブ定款、さらには 2016 年版手続要覧に記
- 3 載されたそれは、統一性および整合性において再考される必要がある。
- 4
- 5 特にロータリーの原理は、「ロータリーの目的」の主文である。
- 6
- 7 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの
- 8 目的は意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあるこ
- 9 とを明確にすることを検討するものとする。

（本文終わり）

趣旨および効果

- 10 一つの理念を実践する組織が構築されると、そこに中核となる価値観が考えられ、
- 11 それに基づく運営のために規則が作られ、未来に向かって展開して行くとき、
- 12 国際ロータリーの戦略計画に掲げられた理念、国際ロータリー定款・標準
- 13 ロータリークラブ定款に記述された理念において、やや整合性に欠けるきらいが
- 14 ある。
- 15
- 16 これらの理論体系を「ロータリーの目的」を中心に置いて整理統合し、一般会員
- 17 の理解が容易に得られるよう系統的な叙述で定款に収載することができれば極めて
- 18 意義深い。これによって、よりいっそうロータリー精神が明確となり、奉仕活
- 19 動に邁進し、賛同者が増強されることが期待される。

財務上の影響

- 1 本決議が実行された場合、RIに大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われ
- 2 る。

決議案 17R-12

ロータリーの中核の価値観と使命を追加する立法案を規定審議会に提案することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 2650 地区（日本）

承認者： 第 2650 地区大会（日本、福井県、越前市）にて承認
(2017 年 4 月 9 日)

1 国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリー戦略計画に
2 掲げられているロータリーの中核的価値観と使命を、ロータリーの目的と整合性
3 が取れるように、RI定款と標準ロータリークラブ定款に書き加えることを規定審
4 議会に提案することを検討するものとする。

5
6 さらに、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの
7 目的に規定されている文言である「意義ある事業の基礎として奉仕理念を奨励し、
8 これを育むこと」をRIの使命とすることを検討するものとする。

(本文終わり)

趣旨と効果

9 どのような組織であっても、組織には必ずその使命、ビジョン、中核的価値観が
10 必要である。国際ロータリーは近年、ロータリーの戦略計画を発表し、ロータリ
11 ーの理念体系も整備しようと試みているが、RI定款・標準ロータリークラブ定
12 款との整合性に欠ける。

13
14 ロータリーの目的を含めて、ロータリーの理念を整理し、その理論体系を再構築
15 し、これを定款に規定することは極めて意義深い。

16
17 これにより、ロータリーの理念体系が整備されることとなり、ロータリアンはよ
18 り明確に、自信をもってロータリー運動にまい進することができる。そして結果
19 的に、国際ロータリーの各種活動がより活発化することが期待される。

財務上の影響

- 1 本決議が実行された場合、RIに大きな財務的影響を及ぼすことはないと思われ
- 2 る。

決議案 17R-16

生態学的に持続可能な取り組みの支援を検討するようRI理事会に要請する件

提案者: Tampere International ロータリークラブ（フィンランド、第 1390 地区）

承認者: 第 1390 地区郵便投票により承認
(2017 年 6 月 16 日)

1 自らの地域社会に影響を与えられるロータリーリーダーならびにソートリーダー
2 (今後の方向性を示すことができるリーダー) による地元での取り組みが、世界
3 中で必要とされている。私たちはともに、持続可能な開発を確保するため、私た
4 ちの行動を公共の福祉に向けることを決意する。

5
6 資源をただ使用していくという考え方は、持続不可能である。自然が廃棄物を出
7 さずに資源を再利用しているように、人類も天然資源を使い捨てない消費を達成
8 する努力をすべきである。

9
10 製品の企画・製造から使用、廃棄に至るまで、製品ライフサイクルの全段階で廃
11 棄物を減らすため、デザインにおける”Less is more”（より少ないことは、より豊か
12 なこと）という考え方が奨励されるべきである。エコロジカルな（生態系への影
13 響が少ない）製品デザインによって、製品ライフサイクルを通じ、さまざまな種
14 類の原材料をもっと再生・再利用することが可能である。

15
16 使用期間の終了時において、よりエコロジカルなプロセスを採用し、貴重な原材
17 料を再利用し、潜在的危険物質の自然界への流入を防ぐため、製品および原材
18 料の廃棄時に関する配慮が必要である。太平洋上に浮遊している廃棄物群は、プ
19 ラスチックを制限なく自然界に排出した結果の目に見える例である。

20
21 未来の世代のために十分な天然資源を残すという目標を達成するには、持続可
22 能な問題解決方法を人々にもっと認識してもらう必要がある。

1 ロータリーにおいて、世界レベルで持続可能な取り組みを計画することで、その
2 取り組みを全クラブに拡大できる。また、ロータリアンの思いやりと、未来の世
3 代のために重要な取り組みを支援したいという願いを示すことで、そのような取
4 り組みを将来の若手会員にまで波及させることができる。
5
6 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、生態学的に持
7 続可能な取り組みとプログラムに注目し、支援することを検討し、さらに、「ク
8 リーンテクノロジー」を製造・製作する企業や、「循環経済」を推進する企業へ
9 の投資増加を目指すことを検討するものとする。

(本文終わり)

財務上の影響

10 本決議が実行された場合、国際ロータリーの経費の増加につながると思われるが、
11 現時点でその額を特定することはできない。費用は、本目標を達成するために
12 RI 理事会が提供する支援の範囲と内容により異なる。

決議案 17R-17

持続可能な開発と環境保護を重点分野に加えることを検討するよう管理委員会に要請する件

提案者: Bourg-en-Bresse-Revermont ロータリークラブ（フランス、第 1710 地区）

承認者: 第 1710 地区大会（フランス、Châtillon-sur-Chalaronne）にて承認（2017 年 6 月 17 日）

- 1 国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリー財団の重点
- 2 分野に持続可能な開発と環境保護を加えることを検討するよう、ロータリー財団
- 3 管理委員会に要請するものとする。

（本文終わり）

財務上の影響

- 4 本決議が実行された場合、ロータリー財団の経費の増加につながると思われるが、
- 5 現時点でその額を特定することはできない。追加の重点分野をひとつ支援するた
- 6 めの一般管理費は年間 125,000 米ドルと推定されている。さらに、既存のソフト
- 7 ウェアに対する大規模な変更が必要となると思われるが、そのための費用の推定
- 8 に必要なプロジェクトの見積もりは、現在存在しない。

決議案 17R-21

ローターアクトクラブ認定フォームの改定を検討するようRI理事会に要請する件

提案者: Mumbai West Coast ロータリークラブ (インド、第 3141 地区)

承認者: 第 3141 地区郵便投票により承認
(2017年5月29日～6月28日)

- 1 ローターアクトは、ロータリーの重要な奉仕のパートナー団体の一つである。
- 2
- 3 ローターアクトクラブが結成されるにあたっては、その発足から状況を見守ることが重要である。
- 4
- 5
- 6 現在、地区ローターアクト代表に知らされずにローターアクトクラブが結成されているため、状況の見守りが困難となっている。
- 7
- 8
- 9 ローターアクトがある地区は、これらのクラブに管理運営上の適切なサポート
- 10 が提供されるよう、見守るべきである。
- 11
- 12 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ローターアクト
- 13 クラブ認定フォームに、地区ガバナーの承認に加え、(可能な限り)地区ロー
- 14 ターアクト代表の承認も含めることを検討するものとする。

(本文終わり)

趣旨および効果

- 15 本決議案は、ローターアクトクラブの結成状況が、地区ローターアクト代表と地
- 16 区に常に知らされるようにすることを目的としている。そうすれば、結成前およ
- 17 び結成中の新クラブに、ロータリー地区によって管理運営上の支援が必ず提供さ
- 18 れるようになる。どの新クラブにおいても、その機能を開始し維持していくには、
- 19 運営管理体制が必要である。地区ならびにスポンサーとなるロータリークラブか
- 20 らの支援をより行き届かせることで、新たに結成されたローターアクトクラブは
- 21 ベストプラクティスを学ぶことができるであろう。

- 1 そのためには、ローターアクトクラブ認定フォームにおいて、さらに地区ローター
- 2 アクト代表の承認（地区で任命されている場合）が必要であると思われる。

財務上の影響

- 3 本決議案は、国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることはないと思われ
- 4 る。

決議案 17R-23

グローバル補助金申請に水プロジェクト申請のテンプレートを含めることを検討するよう管理委員会に要請する件

提案者: Creston ロータリークラブ（カナダと米国、第 5080 地区）

承認者: 第 5080 地区大会（カナダ、British Columbia、Nakusp）にて承認
（2017 年 5 月 12～14 日）

- 1 グローバル補助金による水プロジェクトは多い。
- 2
- 3 汎用のグローバル補助金申請の手続きはあまりに広範囲にわたっており、水プロ
- 4 ジェクトに効率よく敏速に対応できない。
- 5
- 6 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、申請者が水プ
- 7 ロジェクトに特化した申請テンプレートを利用できるリンクをグローバル補助金
- 8 申請手続きに加えるよう、管理委員会に要請することを検討するものとする。

（本文終わり）

財務上の影響

- 9 本決議案は、財務的影響をロータリー財団に与えると思われるが、現時点でその
- 10 額を特定することはできない。グローバル補助金申請手続きにこのような変更を
- 11 加えるためには、既存のソフトウェアへの変更が必要となると思われる。この経
- 12 費に関して、現在、推定額は得られない。

決議案 17R-29

RI理事会に付託された制定案に関する審議過程を公開することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 2660 地区（日本）

承認者： 第 2660 地区郵便投票により承認（2017 年 4 月 21 日）

- 1 2016 年規定審議会において、制定案 16-17、16-18、16-20「ロータリーの目的を
- 2 改訂する件」が理事会に付託された。
- 3
- 4 制定案16-41「仕事をしたことがない人が会員となることを禁じるよう、会員基
- 5 準を改正する件」の検討が同年の規定審議会により無期保留となった。
- 6
- 7 上記の四案件はロータリーの基本理念（Guiding Principles）に関わる重要な案件
- 8 であり、世界のロータリアンがRI理事会での審議過程を注目している。
- 9
- 10 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、上記案件の理
- 11 事会での審議過程と審議結果については、その都度ロータリーウェブサイトへ開
- 12 示することを検討するものとする。

（本文終わり）

趣旨および効果

- 13 RI理事会の本件に関わる審議結果によって 2019 年規定審議会へ提出する制定案
- 14 の内容を検討する必要がある。また毎年度開催される「決議審議会」が 2017 年
- 15 より新たに導入されたので、次の 2019 年「規定審議会」での審議効率化を更に
- 16 促進するためにも、今後は理事会で審議された後に、これらの審議情報が開示さ
- 17 れるべきである。

財務上の影響

- 1 本決議が実行された場合、国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることは
- 2 ないと思われる。

決議案 17R-30

5カ年財務見通しを審議会より前に送付することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者: 第 1710 地区（フランス）

承認者: 第 1710 地区大会（フランス、Châtillon-sur-Chalaronne）により承認

（2017 年 6 月 17 日）

- 1 国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、5カ年財務見通しを規定審議会の 15 日前に審議会代表議員に送付することを検討するものとする。
- 2

（本文終わり）

趣旨および効果

- 3 審議会代表議員が、規定審議会開催の 15 日前にこれらの文書を利用できれば、
- 4 それを読み、事実を完全に知った上で決定を行えるようになるであろう。

財務上の影響

- 5 本決議案は、国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることはないと思われる。
- 6

決議案 17R-31

ロータリーの人頭分担金を増額しないことを2019年審議会で検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 2840 地区（日本）

承認者： 第 2840 地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認
(2017 年 4 月 16 日)

- 1 2016 年規定審議会にて RI 理事会より提案された制定案 16-99 は、当初立法案集
2 では、人頭分担金を年 1 ドルずつ増額する提案であった。しかし、審議当日、急
3 遽修正され、結果として毎年 4 ドルと大幅な増額が採択された。そのために、各
4 ロータリークラブはその対応に苦慮しているのが現状である。
5
6 RI 理事会は、ロータリーの財政の健全化、組織体制のスリム化・合理化に努め
7 るべきであり、クラブに対して説明責任がある。
8
9 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、ロータリーの
10 運営を一層明確化することにより、来る 2019 年規定審議会において、人頭分担
11 金への変更を回避する努力をすることを検討するものとする。

(本文終わり)

趣旨および効果

- 12 かつてない大幅な人頭分担金増額は異例のことであり、多くのクラブが対応に苦
13 慮している。また、国際ロータリー理事会は、ロータリーの運営管理の妥当性に
14 ついて十分な説明責任を果たしていないとも感じ始めている。RI 理事会は、今
15 後、クラブの納得の得られない増額提案をしないように努めるべきである。

財務上の影響

- 1 本決議が実行された場合、RIに財務的影響を及ぼす可能性があるが、現時点で
- 2 はその額を特定することはできない。理事会は規定審議会に人頭分担金の増額を
- 3 提案するか否かについて、RIの5カ年財務見通し、戦略計画、ビジョンを基に
- 4 検討する。
- 5
- 6 RI細則は、均衡の取れた予算を義務付けているため、RI人頭分担金を増額させ
- 7 ないことにより、RIの運営と業務に影響が及ぶ可能性がある。

決議案 17R-36

ロータリー章典の更新箇所編集上の印を加えることを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 第 2650 地区（日本）
第 2680 地区（日本）
第 2840 地区（日本）

承認者： 第 2650 地区大会（日本、福井県、越前市）にて承認
（2017 年 4 月 9 日）
第 2680 地区立法案検討会（日本、兵庫県、神戸市）にて承認
（2017 年 5 月 20 日）
第 2840 地区大会（日本、群馬県、前橋市）にて承認
（2017 年 4 月 16 日）

- 1 ロータリー章典は、RI 理事会や規定審議会の決定に伴い更新され、ロータリー
- 2 ウェブサイトに掲載される。しかし、膨大なページ数からなるロータリー章典か
- 3 ら変更箇所を検索することは容易ではないのが現状である。
- 4
- 5 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、より早く、正
- 6 確な理解を促すことができるよう、ロータリー章典の変更箇所を、削除される箇
- 7 所は削除線、追加箇所は下線で示すことを検討するものとする。

（本文終わり）

趣旨および効果

- 8 ロータリーを運営する上で、最新のロータリー章典の変更箇所を確認する事が不
- 9 可欠である。しかし、ロータリー章典へアクセスするロータリアンは、変更箇所
- 10 の検索に大きな困惑を感じている。変更箇所が削除線またはアンダーラインで明
- 11 確に示されれば、検索がより正確になり、また検索時間も短縮できる。

財務上の影響

- 1 本決議が実行された場合、ロータリー章典に編集上の印を入れるために必要な追
- 2 加の事務的リソースが必要となることから、RIの経費増加につながる可能性が
- 3 ある。費用は、章典への変更の頻度と量により、毎年異なると思われる。

決議案 17R-37

年次の会長テーマをヒンディー語で発表することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者: 第 3070 地区 (インド)

承認者: 第 3070 地区大会 (インド、Punjab、Amritsar) により承認
(2017 年 3 月 19 日)

- 1 世界中に、約 123 万人のロータリアンがいる。
- 2
- 3 全世界の総会員数の 12 パーセント近くをインドの会員が占めている。
- 4
- 5 ヒンディー語はインドの公用語である。
- 6
- 7 ヒンディー語は、すでにロータリー言語の一つとなっている。
- 8
- 9 年次の会長テーマは、ほかのロータリー言語で発表されているが、ヒンディー語
- 10 は含まれていない。
- 11
- 12 年次の会長テーマがヒンディー語で発表されれば、膨大な数のインド民衆に容易
- 13 に受け入れられ、ロータリーとその活動が認識され、究極的にロータリーの拡大
- 14 につながるであろう。
- 15
- 16 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、年次の会長テ
- 17 マをロータリー言語の一つであるヒンディー語で発表することを検討するもの
- 18 である。

(本文終わり)

趣旨および効果

- 19 インドは、13 億人という膨大な人口を擁している。ヒンディー語は同国の隅々
- 20 で理解されている。ロータリーをより浸透させ、ロータリーに対する人々の理解

1 を後押しする上で、ロータリーにおけるすべての広報活動において年次の会長
2 テーマを使うことは有益である。テーマが地元言語で表記されれば、大多数の
3 人々が、テーマをよりよく理解し、自分たちのためのものとして受け入れやす
4 くなる。年次の会長テーマをヒンディー語で発表することは、高額な支出を必要と
5 するものでないだけでなく、テーマがより受け入れられ、公共イメージが向上し、
6 会員数がある程度増加し、ロータリー財団が強化されるという、非常に大きな恩
7 恵をもたらす。

財務上の影響

8 年次の会長テーマがヒンディー語に翻訳される場合、本決議案は、国際ロータリ
9 ーに大きな財務上の影響を与えることはないと思われる。
10
11 国際ロータリーは現在、クラブと国際事務局に対する調査から得られたニーズを
12 基に、ヒンディー語のサポートを提供している。この例として、クラブ役員キッ
13 トはヒンディー語でも提供されている。ただし、全出版物がヒンディー語に翻訳
14 される場合には、RIの経費の増加につながると思われるが、現時点でその額を
15 特定することはできない。

決議案 17R-38

投票機器の使用方法を審議会代表議員に研修することを検討するようRI理事会に要請する件

提案者： 釧路ロータリークラブ（日本、第 2500 地区）

承認者： 第 2500 地区郵便投票により承認（2017 年 6 月 23 日）

- 1 規定審議会は、電子投票により投票が行われる。
- 2
- 3 2016 年規定審議会初日には、代表議員の投票機器の取り扱いが不慣れの為、100
- 4 票近い票が投票に含まれなかった。
- 5
- 6 このシステムは不正確な投票を引き起こす可能性がある。
- 7
- 8 よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリー理事会は、2019 年規定
- 9 審議会の前日のリハーサルの中で、投票機器の取り扱いに関するセッションを実
- 10 施する事と、投票機器をより簡単に投票できるものに変更することを検討するも
- 11 のとする。

（本文終わり）

趣旨および効果

- 12 本決議案の趣旨は、本文に記載された通りである。効果については、精度の高い
- 13 投票結果を実現することにより、規定審議会に対する全世界のロータリアンの信
- 14 頼を得ることができる。

財務上の影響

- 15 本決議が実行された場合、国際ロータリーに大きな財務上の影響を与えることは
- 16 ないと思われる。毎回の規定審議会の開始前には、代表議員を対象に投票機器の

- 1 使用方法に関する研修セッションが行われている。さらに、投票機器の業者につ
- 2 いては3年毎に評価が行われる。

採択された決議案の票数

立法案 番号	賛成	反対	合計
17R-01	295	195	490
17R-04	331	152	483
17R-05	317	166	483
17R-06	341	146	487
17R-07	396	93	489
17R-10	280	204	484
17R-12	250	235	485
17R-16	279	208	487
17R-17	247	235	482
17R-21	281	194	475
17R-23	308	182	500
17R-29	284	196	478
17R-30	425	58	483
17R-31	300	189	489
17R-36	309	179	488
17R-37	305	175	480
17R-38	340	144	484